平成18年度　学 校 自 己 評 価 表

（　計画段階　・（実施段階）　）

福岡県立小倉高等学校長

学　校　運　営　計　画			評価（３月）
学校運営方針	穏健中正、真理と正義を愛好し、質実剛健、自主自律の精神に富む人格の育成に努め、より良き伝統、麗しき環境を形成し、文化の創造と社会の発展に寄与する生徒を育成する。		A
１７年度の成果と課題	１８ 年 度 重 点 目 標	具 体 的 目 標	
スーパーサイエンスハイスクール１年目の研究を推進し一定の評価を得た。２年目の研究・実践を深め、生徒の100％進路実現に努めるとともに豊かな人間性の育成を目指す。	勉 学：豊かな資質を最大限に伸ばし、より高い学力をつける。	難関大学、学部への進学実績を向上させる。	
	創 造：文武の両面で、個々人の多様な能力を伸ばす。	部活動で全国大会を目指し、また、生徒会活動をも活性化しながら、自己の進路を見つめさせ、将来多方面において日本をリードする人材を育成する。	
	規 律：規範意識に富み、道徳性が高く、思慮深い生徒を育成する。	校則を守り、小倉高校生にふさわしい態度を身につけさせる。［時を守り］	
	勤 労：国家社会に貢献する高い志を育み、奉仕の精神を培う。	清掃、美化活動を通して学びの場としての環境づくりに努めさせ、地域のボラティア活動へ積極的に参加させる。［場を清め］	
	敬 愛：地域や母校を愛し、他者を深く思いやる豊かな心を育てる。	挨拶や礼儀正しい振る舞い、品格のある行動に努めさせる。［礼を正す］	

評価項目	具 体 的 目 標	具　体　的　方　策	評価（３月）			１９年度の主な課題
学習指導（勉　学）	教科指導力の向上	１　年間指導計画・シラバスの内容及び利用の改善充実のため、学期に１回の点検、検討を行う。	B	B	A	大学入試を見据えた戦略的教科指導の充実を図る。ＳＳＨ事業やＦＳＨ事業に対する支援体制を強化。一つ一つの事業の質の一層の向上と成果を目指す。
		２　研究授業を積極的に行い、教科指導力向上に関する研修会を実施する。（年３回実施）	A			
		３　生徒による授業評価について、教科での活用のしかたを研究し、課題の解決を図る。（年３回実施）	B			
	学習意欲の向上	１　家庭での学習時間を確保し、予習復習、課題学習を徹底させ積極的な授業態度を身につけさせる。	B	A		
		２　習熟度別授業の改善を図るとともに、個々の生徒の学力を向上させる方策を研究する。	A			
		３　スーパーサイエンスハイスクール事業において、理数系教科の学力向上と併せ、大学や地域、民間機関と連携した文系教科の学力向上に向けた研究を行い、生徒の「志」を育てる教育を推進する。	A			
進路指導（創　造）	外部講師を活用した進路学習	１　国際的に活躍する先輩や地域の人材を活用した講演会等を行い、生徒の進路決定に役立てる。（年３回実施）	A	A	A	ＳＳＨ事業を通して高大連携の一層の充実を図り、生徒の将来を見据えた高　い目標の進路指導の充実をめざす。難関大合格者増をめざす。
		２　大学教授などによる分野別講演会や大学公開講座へ参加させるなど、高い目標への進学意欲を高める。	A			
	倉高オンリーワン計画の充実	１　３カ年を通した計画的な進路学習や倉高ランクなどを活用して適切な進路指導を行う。	B	B		
		２　東京大学へ１０名、京都大学へ１０名、医学部へ１０名、九州大学へ１００名合格させる。	B			
		３　ＡＯ入試、推薦入試の合格率を６０％以上、国公立大学の現役合格率を７０％以上にする。	B			
生徒指導（規　律）	規範意識の向上	１　基本的な生活習慣の確立をもとに、出席皆勤が生徒の５０％になるように指導する。	B	B	B	倉高生としての自覚と自尊心を持たせるマナー教育を充実させる。
		２　全ての学校行事を通して小倉高校生として誇りある態度を育成しながら、正義を愛し、社会秩序の形成者としての自覚を深め、自己指導能力を高める。	A			
	部活動・生徒会活動の活性化（百周年事業の展開）	１　部活動の活性化を促し県大会１０部、全国大会５部の出場を目標に部活動の支援を継続する。	B	A		運動部、文化部とも１０部の全国大会、九州大会へ出場を目指し部活動の活性化を図る。行事等での生徒の自主的活動を推進する。
		２　生徒会が中心に運営する文化祭・体育大会などの学校行事では、全生徒が各々の役割を果たして完成させる全員参加の生徒会行事を実現し、倉高生としての帰属意識を高める。	A			
		３　生徒数減に伴い、生徒会行事の見直し改善を行う。	B			
		４　百周年に向けて諸条件を整備し、生徒の母校愛を涵養する。その為の分掌を設置し記念誌編集作業を継続する。	A			
道徳教育（勤　労・敬　愛）	モラルの向上	１　儀式や行事を通じて、集団活動の中での望ましいあり方、義務と責任を指導する。	A	A	A	節目節目の儀式を通して社会人としてのモラルを養う。
		２　校外での乗車マナーや社会生活上のモラルの向上を指導する。	B			
		３　法を大切にする規範意識を高め、信頼と尊敬を集める人間を育てる。	A			
	勤労・奉仕精神の育成	１　日常の校内清掃や地域清掃、除草作業等を通じ、自分の周囲や地域、社会に感謝する精神を育成する。	B	B		社会に感謝する精神の育成をさらに進める。
		２　高齢者や障害者への福祉活動を実施し、ボランティア精神を培う。	B			